

各位

会 社 名 株式会社ソフトフロントホールディングス
代表者名 代表取締役社長 二通宏久
(コード番号：2321 東証グロース)
問合せ先 取締役 財務・管理統括担当 程崎 絵李加
電 話 03-6550-9270

通期連結業績予想と実績との差異に関するお知らせ

2024年6月24日に公表しました2025年3月期（2024年4月1日～2025年3月31日）の業績予想と本日公表の実績に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2025年3月期業績予想と実績の差異

	連 結 売 上 高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に 帰 属 す る 当 期 純 利 益	1 株 当 たり 連結当期純利益
前回発表（A）	百万円 1,105	百万円 80	百万円 80	百万円 —	円 銭 —
実績（B）	823	28	△58	△81	△2.62
差額（B－A）	△282	△52	△138	—	—
増減率（%）	△25.5	△65.0	—	—	—
（ご参考）前期実績 （2024年3月期）	889	△164	△168	△317	△10.28

2. 業績予想との差異の理由

当社は、当社グループの主力製品である「commubo」、「telmee」及び「SITE PUBLIS Connect」の商品力強化に主軸を置くとともに、既存事業の「SUPREE」の受注を中心に営業活動に取り組んでまいりました。

売上高につきまして、既存事業の「SUPREE」は、受託開発売上においてデリバリースケジュールの後ろ倒しにより減収となり、201百万円の計画に対し、172百万円の売上計上となりました。

「commubo」及び「telmee」は月額課金のストック型ビジネスであり、コールセンターを中心とするボイススポットニーズは高まりと、特定の業界・業種に精通している企業へのOEM提供によって販売効率を高め、売上高は過去最高値となり伸張しました。今後も顧客数の伸びに応じて安定的な収益が堅調に推移するものと見込んでいるものの、その一方で、将来導入を検討する潜在顧客も多くPoCや限定的な利用に留まるユーザが一定数存在し、本格的な運用に至るまでに遅延が生じたことなどにより、新規獲得が計画に届かず453百万円の計画に対し、304百万円の売上計上となりました。

「SITE PUBLIS」においては、企業におけるDX推進のニーズの高まりの中、企業にとってのWebサイトの重要性が増していることから、既存顧客からの追加改修の案件を受注しております。その一方で、新規受託開発売上においては顧客企業のビジネス環境の変化による大型開発の見送りやデリバリースケジュールの後ろ倒しにより減収となり、449百万円の計画に対し、347百万円の売上計上となりました。

以上のことから、売上高につきまして前回業績予想を下回りました。

営業利益につきましては、外注費の削減を図ることによる売上原価の圧縮や販管費の縮減などによる効果も表れはじめ当連結会計年度におきましては営業利益を計上することになりましたが、売上高の減収や増資に伴う税負担もあり、前回業績予想を下回りました。

経常利益につきましては、本日公表しました「営業外収益及び営業外費用の計上に関するお知らせ」のとおり、株式の譲渡に関連する金銭債権に係る貸倒引当金戻入額11百万円を計上したものの、増資に伴う諸費用の一部98百万円を計上したため、前回業績予想を下回りました。

(注) 上記の内容は、本日（2025年5月14日）公表の「2025年3月期決算短信【日本基準】（連結）」に反映しております。

以 上